

GOVERNOR'S
MONTHLY
LETTERvol. **10**
2012年4月号こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

月信に掲載しなかった補足情報をホームページに掲載しております。http://ri2710.com/ をご覧下さい。

ガバナーメッセージ GOVERNOR'S MESSAGE

国際ロータリーの考え方

国際ロータリー第2710地区
2011～2012年度ガバナー

田村 泰三

「国際ロータリー(RI)は何をを考えているのか」と言う質問はしばしば公式訪問の際に寄せられました。これは私自身にもよく分からないことですが、ガバナー・エレクトの研修などにおいてRIの意向を教育されます。RIの方針の基本的な事項は、ロータリー章典、手続き要覧に記載されているとおりです。これについて意義があれば3年ごとに開催される規定審議会に立法案を提出して、各地区からの代表議員によって議決されます。このような仕組みは分かっても、RIのウェブサイトを通して発せられるRIの理事会決定には思いがけないものがあるのも事実です。RIの考え方が分らなければ十分な理解や信頼も生まれないことも当然です。人の心を推し量ることは困難です。まして、RIは個人ではなく理事会を中心とするリーダーの人たちの集団の意見といえます。当事者でもわからないことがあるでしょう。従って私自身の仮定、推量を加えて筋道が付くように組み立ててみるしか方法がないようです。私の個人的な意見を加えて皆さまの参考にしていただきたいと思います。

RIの意向に確信を持つことができれば、クラブの進むべき方向についても自信を持つことができるでしょうし、会長さん、幹事さんもクラブの運営に自信が加わることでしょう。

「RIの危機感」について考えてみます。RIはロータ

リークラブが基盤となった組織です。組織が衰退しないためにはクラブがしっかりしていることが必要です。会員増強ができ、奉仕プロジェクトが進み、ロータリー財団での支援が確立され、人材が養成されるという、効果的なクラブがRIの組織を支えることになります。RIがDLP(地区リーダーシップ・プラン)、CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)を掲げ、RIの戦略計画を3年ごとに見直し、ロータリアンに5つの中核となる価値観を提唱していることは、RIと言う世界で最も大きいともいえる組織を維持、発展させるための経営戦略、マネジメントであると考えます。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を唱えたアーサー・シェルドンはこの考え方によって組織の発展を願ったと思います。現在、マネジメントの考え方と手法を提唱して反響を呼んでいるピーター・ドラッカーが指摘していることは、RIが掲げているDLP、CLP、戦略計画のようなマーケティングを伴ったイノベーションであり、効果的なクラブを目標にしてロータリー・クラブの充実を達成しようとすることは、RIの組織を盤石なものにすることにほかなりません。さらに組織力を強化して、平和と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展を目指そうとしています。

RIのリーダーはその考えについて詳しく語っていません。しかし、その行動から以上のようなことが読み取れるのは明白であると思います。RIは決して奇策を弄しているわけではなく、真正面からマネジメントに取り組んでいると思います。そうでなければこの巨大組織は運営できないし未来もないでしょう。

ロータリークラブの運営の方向も全く同じです。しかもこの考え方や手法は私たちの職場においても有効です。ロータリーは人生の道場である、とか研究室の実験であるといわれるように、私たちが自信を持って生きていく能力を育成する機関であると思います。

以上は皆さまが気づいておられることを言い直しているだけなのかもしれません。

雑誌月刊にあたって ロータリーをより理解するために <キリスト教を勉強してみたらどうだろう>

地区広報委員会
カウンセラー
パストガバナー

岡田 幹 矢



ロータリー月間は1983年7月に開始され、4月は雑誌月間と決められています。

ロータリーの雑誌「ザ・ナショナルロータリアン誌」は1911年1月に、ロータリーの中興祖、チェスター・ペリーにより発刊されました。

ロータリーが全米から国際組織へと成長するにつれ、同誌は月刊誌となりロータリー関連だけでなく、一般のニュースも掲載されるようになりました。

再来、有余曲折を経て、RI理事会の承認誌は各国のロータリアンにとって、ロータリーの貴重な情報源となっています。

また、日本語版「ロータリーの友」は、RIの公式の機関誌として、「友」の購読は、ロータリアンの三大義務の一つとなっています。

雑誌月間は、ロータリアンにとっては雑誌の購読を通じて、今一度「ロータリーとは何か」、「その目的」、「奉仕理想の理念」を考える、再考する月間でもあります。

一般に、ロータリーは次のように理解されています。

「ロータリーは自分を磨き、人を育て、時には慈善行為、ボランティア活動を行う世界的な団体である」

「ロータリーは、奉仕と友好を志す人々の世界的団体で、「奉仕の理想」を信条とし、会員は職業を異にする善良な成人で形成され、各種の職業の代表を選び、それぞれの地域にロータリークラブを形成し奉仕活動を展開している」

ロータリーの奉仕の理念

「ロータリーの奉仕理念は、他への思いやりの心、助けあいの心、他人のお役に立つ行いをしようとする心」です。

因みにポール・ハリスは「寛容、慈愛、忍耐」といっておられます。

これは些か独断的な意見かもしれませんが、

もう少し深くロータリーを勉強しようとする人は、この月間に「キリスト教もしくは他の一神教（イスラム教）」を学習することも一考かと思います。

何故ならロータリーは無宗教を立前としていますが、いうまでもなく西洋文明・キリスト教文明の一つとして発展して来た、われわれ、日本人の多くがロータリーの精神に触れながら、今一步その奥義まで踏み込めないのは、キリスト教（一神教）に対する理解の浅さ、というより無理解からではないかと考えるからです。

つまり、ほとんどの日本人（多信教）にとって、宗教と法律は別々のものであるが、キリスト教や、イスラム教の人にとっては「衣食住、生活暦、刑法、民法等、生活の全てが“神”との契約である」とする、この「根本」の理解なしにロータリーでいう「愛」とか「奉仕」の真の語意が感得出来ぬのではと考えるからです。

現実に、多神教の方にも立派なロータリアンがおられることは十分承知していますが、ことロータリーに関しては、それ以上に、秀れたキリスト教信者の先達がおられる事もまた直視しなければならぬと思います。

今一つ「ロータリーの雑誌月間」で、重視しなければならぬのは広報との関連です。

最近RIは広報を特に優先的に強化しようとしています。

結論的に言えば「広報」は各々のロータリアンが「広報車」たる自覚をもって活動しなければならぬことが、広報の定説となっています。

先ず、「友」を購読すること。最近「ロータリージャパン」ウェブが運用されていますので併用下さい。

次に、「例会」やその他の親睦を通じて一人前のロータリアンになるべく研修を積むこと。

更に、「RI」の準備する多彩なプログラム・プロジェクトに積極的に参加し、アクティブなロータリアンになること、が求められています。

ロータリーは楽しいところです。

「雑誌月間」に当って、ロータリーのよいところ、効用を見直し、新会員勧誘に一尽、役立てようでは有りませんか。

RCC地区大会報告

地区奉仕プロジェクト委員会
社会奉仕部会RCC担当

藤 麻 一 三



2012年2月11日、グランラセーレ東広島を会場として、RCC地区大会が田村泰三ガバナーをご来賓にお迎えし、RCCメンバー及び提唱ロータリークラブメンバーの参加のもと盛大に開催されました。

第2710地区内には「下関西RCC」・「防府あすなろRCC」(防府RC提唱)・「柳井西RCC」・「ゆうほRCC」(広島廿日市RC提唱)・「広島安芸RCC」そして今回のお世話をいただいた「西条RCC東広島こころ塾」の6つのRCCがありますが、各々地域に密着した奉仕活動を展開しております。

東広島こころ塾の山内吉治塾長そして西条RC菅生一光会長の歓迎挨拶の後、田村泰三ガバナーより祝辞を頂戴しました。

基調講演は元広島大学学長の牟田泰三先生。奇しくも田村ガバナーとお名前がご一緒に、初対面とは思えないほど意気投合。演題は「湯川秀樹先生と過ごした日々」。中間

子論は我々凡人には理解しがたいものでしたが、ノーベル物理学賞受賞の湯川先生との逸話を楽しく拝聴しました。

昼食後のアトラクションは岡田良二さんによる「東広島スタンダード」のギター演奏&熱唱。東広島市立造賀小学校校長先生とは思えぬパフォーマンスをご披露いただきました。

そして各RCCリーダーから堂々とした活動報告があり、お互いの意見交換へ。

活動内容の問題、メンバーの確保の問題等、どちらのRCCも課題は少なからずありますが、「楽しく参加、楽しく行動、楽しく帰る」をモットーに、ロータリーの価値観を共有して、意欲を持って活動しております。

最後に田村ガバナーより講評をいただき、次年度開催の「防府あすなろRCC」へ伝承式を行い閉会。

西条RCCの皆様大変お世話になりました。西条と言えば「酒」。研修の癒しに酒蔵通りを散策して帰られるメンバーも……



IM開催報告 グループ9

グループ9
ガバナー補佐 上田隆治



朝よりの快晴に恵まれた
2月18日に、グループ9の
IMを登録者246名で三
原国際ホテルにて開催し
ました。当日は、ご来賓とし
て田村泰三ガバナー、元

RI理事南園義一パストガバナー、西海俊夫
地区副代表幹事、林克宏次年度ガバナー補
佐をお迎えし、肅然とした中で開会式を迎え
ました。点鐘、国家斉唱と式は厳粛に進みま
したが、当年度内の物故者への黙祷で、ロー
タリアンとしては若い3人の仲間を失ったこと
に心が痛みました。

基調講演は南園パストガバナーにお願いし
「クラブの活性化とロータリーの未来」につい
ての御講話をいただきました。講師のいつも
の理路整然とした情熱溢れる語り口の中よ
り、ロータリーの未来への展望をお聞かせい
ただき、身の引き締まる思いがいたしました。

記念講演では、宇宙工学博士の的川泰宣
教授の「この国とこの星たちと私たち」—はや
ぶさの教訓から—と題して小惑星探査機「は
やぶさ」の打ち上げから生還までのお話を、
それこそ手に汗を握るほど、感動的な講話を
いただきました。日本と日本の技術に対する深
い信頼と、若い世代にかける熱い想いには心
響くものがありました。

懇親会では、西海地区副代表幹事の乾杯
のもとに、盛大に開催されました。グループ9
の各クラブの参加者が、お互いに旧交を温め
合う談笑の輪があちこちに見られ、時を追う
に従って大きな渦となって盛り上がって行きま
した。時を忘れるほどの盛大裡に懇親会を終
了することが出来ました。

終わりにIMに参加いただいたご来賓各
位、グループ9の会員、三原ロータリークラブ
会員、IM実行員会の皆様に感謝の念を申し
上げ報告とさせていただきます。



宇宙工学博士 的川泰宣氏

合同IM開催報告 グループ10・11

グループ10 ガバナー補佐

角 紘一

グループ11 ガバナー補佐

佐藤 忠彦



角 紘一



佐藤 忠彦

本年度のIMは「老いを生きる ― 認知症を考える ―」をテーマに掲げ、グループ10・グループ11合同で2月19日(日)福山ニューキャッスルホテルにて開催致しました。

本年度の地区の目標の一つである「認知症」の問題について、「認知症の人と家族を地域社会として支援することを学ぶ」ことを念頭にロータリアンとして何が出来るか考えるとともに、地域社会への奉仕を考える端緒になったのではと思います。

当日は羽田皓福山市長、田村泰三ガバナー、松本茂太郎パストガバナーをはじめ、ガバナー補佐エレクトの方々をご来賓にお迎えし、343名の会員皆様のご参加を頂きました。

開会セレモニーの後、本会議パートIとして福山市民病院神経内科医長深井雄太先生にテーマ「老いを生きる ― 認知症を考える ―」についてご講演を頂きました。スクリーンを使い、分かりやすく解説して頂き、「認知症」

について十分理解を深めることが出来ました。

本会議パートIIパネルディスカッションでは「介護の現状」と題して「福山地域包括支援センター」より赤山亮様、甲斐君子様、「福山地区認知症の人と家族の会」より佐藤純子様、依田功様の四名のパネリストにご登壇いただきました。コーディネーターは、福山北ロータリークラブ会員福山市民病院院長高倉範尚さんが務めました。

高倉コーディネーターの司会のもと、パネリストの方々に介護の現場の熱い生の声、家族の現状を熱心に語っていただきました。

白熱したディスカッションとなり、会場のロータリーの皆様も感動を得たと思います。「皆さんがロータリーに期待するものは何ですか?」という高倉コーディネーターの最後の質問でパネルディスカッションは幕を閉じました。

本会議後の懇親会では、アトラクションとして井坂流津軽三味線「井坂斗絲幸社中」の皆様は津軽三味線、和太鼓、民謡、舞踊と披露して頂き、充実した懇親会となりました。

児玉正宏G10実行委員長、藤井裕三G11実行委員長をはじめとするロータリアンの皆様の熱き支援とご協力に感謝し、盛大にIMを開催出来ましたことに、厚く御礼申し上げます。



IM開催報告 グループ8

グループ8 林 潤彦
ガバナー補佐



2012年2月26日(日)、国際ロータリー第2710地区グループ8の「インターシティミーティング」を7クラブ155名の参加を得て、呉阪急ホテルで開催しました。来賓に田村泰三ガバナー、田村邦夫代表幹事をはじめ、真鍋欣良パストガバナー、大之木精二ガバナーエレクト、沖田哲義ガバナーノミニ、武安紘二次年度グループ8ガバナー補佐の皆様のご出席を得て有意義なIM行事運営となりました。

今年度はIMのテーマを2013年度から始まるロータリー財団「夢計画」をグループ8の皆さんに出来るだけ理解を深めていただければと考えて「クラブの未来は夢計画の中に」とさせて頂きました。基調講演に地区ロータリー財団委員会のカウンセラー川妻二郎パストガバナーにお願いして、演題を「夢計画でクラブの活性化を」とさせて頂きました。川妻氏は講演の中でアメリカのロータリアン(能動的)と日本のロータリアン(受動的)の性格の違いを比較しながら、今までの財団活動は本部で企画されたプログラムに従って、クラブ活動が行われたが、夢計画では地区とクラブと会員が一体となって自主的に奉仕プロジェクトを企画・立案実行してゆかなければならない。そのためにはク

ラブ会員全員参加の「クラブアセンブリー」、「クラブフォーラム」が十分に機能していなければならない。このことから夢計画に参加することでクラブの活性化が生まれると強調されました。

次いで第2部フォーラムでは、「夢計画の具体的活用について」をテーマに7クラブから選出されたエース級のパネラーが、次年度地区財団委員長藤井清実氏の司会で、それぞれからクラブを代表する活発な議題提出がありました。これに対してコーディネーター役の地区財団夢計画準備委員長伊賀訓之氏から具体的に夢計画の活用方法の説明があり、参加者一同にとって夢計画理解の一助となりました。

各パネラーの議題の要約は、(1)「夢計画がなぜ必要か」、(2)「従来と新地区補助金の制度の違い」、(3)「持続可能の意味」、(4)「新奨学金や新職業研修チームについて」、(5)「新補助金の地区へ申請の仕方」、(6)「夢計画が始まるまでにクラブが事前に整える条件」、(7)「クラブとして夢計画に取り組む体制作り」等々多方面に渡る議題が提出されて活発なフォーラムとなりました。

9時30分開始の勉強会は12時50分に終了し、13時から昼食を含めた懇談会があり14時には、2012年度のIM行事の全てが終了しました。



国際ロータリー第2710地区 2011-2012年度／74RCの会員増減・出席率 2012年2月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数						
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本年度			
						末日	内女性	入会者	退会者	増減	
グループ1	長 門	4	81.25	86.06	29	32	4	4	1	3	
	下 関	4	85.42	86.92	48	48	1	5	5	0	
	下関中央	4	79.3	86.48	30	29	5	1	2	-1	
	下関東	3	78.25	80.64	45	49	0	6	2	4	
	下関北	4	88.68	86.41	43	42	0	1	2	-1	
	下関西	5	89.73	92.34	37	38	1	3	2	1	
	油谷湾	3	100	100	14	14	0	1	1	0	
	計		86.09	88.41	246	252	11	21	15	6	
グループ2	萩	4	90.16	91.53	56	53	0	2	5	-3	
	萩 東	4	97.92	97.97	25	24	0	1	2	-1	
	美 祢	4	74.14	76.04	26	29	0	4	1	3	
	小野田	5	88.26	82.72	47	46	0	0	1	-1	
	宇 部	4	87.66	85.75	52	52	2	3	3	0	
	宇部東	5	86.66	74.22	22	20	3	1	3	-2	
	宇部西	4	90.27	89.39	51	52	1	3	2	1	
	計		87.87	85.37	279	276	6	14	17	-3	
グループ3	防 府	4	90.26	89.72	59	59	0	2	2	0	
	防府北	4	84.52	87.39	20	21	1	1	0	1	
	防府南	4	90.09	88.45	29	34	7	5	0	5	
	山 口	5	94.87	94.94	53	55	3	4	2	2	
	山口中央	4	100	89.12	9	9	2	0	0	0	
	山口県央	4	95.14	96.84	33	36	1	4	1	3	
	山口南	4	78.94	82.56	35	38	3	4	1	3	
	計		90.55	89.86	238	252	17	20	6	14	
グループ4	光	4	90	91.14	49	48	0	0	1	-1	
	周南西	4	100	100	40	42	3	3	1	2	
	徳 山	4	97.75	97.85	41	48	1	8	1	7	
	徳山セントラル	4	88.8	90.89	28	29	1	2	1	1	
	徳山東	5	98.05	98.19	49	52	0	3	0	3	
	計		94.92	95.61	207	219	5	16	4	12	
グループ5	岩 国	4	77.72	84.48	61	62	0	3	2	1	
	岩国中央	5	93.1	92.23	41	40	3	0	1	-1	
	岩国西	4	83.04	85.31	59	58	3	3	4	-1	
	柳 井	3	100	99.42	28	32	2	7	3	4	
	柳井西	4	99.11	97.95	29	30	2	1	0	1	
	計		90.59	91.88	218	222	10	14	10	4	
グループ6	広 島	4	99.58	99.47	117	121	1	9	5	4	
	広島安芸	4	94.18	97.41	41	43	2	2	0	2	
	広島安佐	4	89.77	91.49	20	22	1	3	1	2	
	広島東	5	93.42	96.18	89	92	4	7	4	3	
	広島北	4	98.75	99.84	77	81	0	6	2	4	
	広島陵北	5	98.95	97.3	39	38	0	0	1	-1	
	大 竹	4	87.12	84.56	31	33	0	3	1	2	
	計		94.54	95.18	414	430	8	30	14	16	

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数						
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本年度			
						末日	内女性	入会者	退会者	増減	
グループ7	広島中央	4	100	99.94	58	57	5	2	3	-1	
	広島廿田市	4	92.14	93.65	34	35	1	1	0	1	
	広島城南	4	100	98.71	44	51	1	7	0	7	
	広島南	4	98.81	98.7	86	90	0	6	2	4	
	広島東南	4	100	100	89	90	8	4	3	1	
	広島西南	4	100	100	63	65	4	5	3	2	
	広島西	4	100	100	80	84	0	5	1	4	
	計		98.71	98.71	454	472	19	30	12	18	
グループ8	江田島	4	92.9	91.69	18	18	0	2	2	0	
	東広島	4	99.17	97.29	32	30	2	0	2	-2	
	東広島21	4	85	89.93	19	20	4	1	0	1	
	呉	4	96.93	94.47	70	70	0	4	4	0	
	呉 東	4	90.6	92.39	32	32	0	1	1	0	
	呉 南	4	94.16	90.32	48	53	4	5	0	5	
	西 条	4	98.5	99.09	51	50	2	2	3	-1	
	計		93.89	93.6	270	273	12	15	12	3	
グループ9	広島空港	5	77.6	82.07	24	25	3	2	1	1	
	因 島	4	88.46	84.74	26	26	1	1	1	0	
	三 原	4	93.28	90.3	64	63	2	1	2	-1	
	尾 道	4	79.19	84.03	70	71	2	3	2	1	
	尾道東	4	89.73	87.96	56	54	1	0	2	-2	
	瀬戸田	4	90	90.67	11	10	0	0	1	-1	
	竹 原	4	85.89	92.94	35	35	4	1	1	0	
	計		86.31	87.53	286	284	13	8	10	-2	
グループ10	府 中	3	94.55	88.68	36	35	0	1	2	-1	
	福 山	4	85.49	92.15	78	78	0	8	8	0	
	福山東	4	89.5	90.08	51	51	0	3	3	0	
	福山丸之内	4	85.14	90.47	36	37	1	1	0	1	
	鞆の浦	4	92.43	89.58	32	33	0	1	0	1	
	計		89.42	90.19	233	234	1	14	13	1	
グループ11	福山赤坂	4	83.29	81.69	42	44	3	3	1	2	
	福山北	4	98.4	97.56	46	47	0	1	0	1	
	福山南	4	90.98	90.12	60	61	1	3	2	1	
	福山西	4	96.02	90.99	42	44	4	3	1	2	
	松 永	3	89.62	90.73	43	46	1	3	0	3	
	計		91.66	90.22	233	242	9	13	4	9	
グループ12	吉 舎	4	89.7	93.81	19	17	0	0	2	-2	
	三 次	4	81.25	83.86	40	40	0	2	2	0	
	三次中央	4	96.94	93.48	49	48	7	1	2	-1	
	庄 原	4	87.49	89.91	38	38	4	2	2	0	
	東 城	5	77.84	78.82	19	19	1	1	1	0	
	計		86.64	87.98	165	162	12	6	9	-3	
	2710地区計		90.8	91.08	3243	3318	123	201	126	75	

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相

談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

下記申込先:ロータリー文庫

ロータリー創立記念日にあたって

「70周年に当り創世期のロータリーを憶う」	平島健次郎	1975 7p (ロータリー入門)
「これがロータリーだ」	直木太郎	1983 41p (私のロータリー、50年)
「平凡で偉大なロータリー精神」	末永直行	1972 20p
「シェルドン…忘れ得ぬその名」	ジョン・ナットソン 神崎正陳訳	1998 12p
「ロータリー財団の父 アーチC.クラフの人物となり」	鳴海淳郎	2000 9p
「ロータリー進化論」	前原勝樹	1985 19p

「ロータリーの組織と奉仕」	深川純一	2001 68p
「ロータリー広報乃王道」	佐藤千壽	1997 34p
「米山梅吉と日本のロータリー(抄)」	長井盛至	1983 31p
「四つのクラブの七つの驚き」	安積得也	1977 44p (お・ロータリアン)
「我が自叙伝」	ハーバートJ.テラー 著 菅野多利雄 訳	1990 219p

申込先:緑ヶ丘病院 FAX (022)365-3000

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

新 会 員 紹 介

(順不同)



西阪 義晴
下関RC
2012年2月27日
百貨店



田島 幸正
防府南RC
2012年2月9日
繊維工業



長沼 幸忠
防府南RC
2012年2月9日
設備工事



城 宣生
防府南RC
2012年2月9日
私立保育園



山城 滋
徳山RC
2012年2月9日
新聞発行



渡邊 正之
徳山RC
2012年2月9日
貨物運輸



上田 憲男
徳山セントラルRC
2012年2月6日
商業銀行



古池 信夫
岩国RC
2012年2月23日
電力供給



川部 亮二
岩国西RC
2012年2月3日
商業銀行



姜 慧
広島中央RC
2012年3月5日
介護施設



石田 淳
広島城南RC
2012年2月3日
機器製造配布



大室 岳司
江田島RC
2012年2月9日
信用



平岡 聡
呉RC
2012年2月23日
電力供給



山岡 嗣也
呉南RC
2012年2月7日
弁護士



山口 信行
呉南RC
2012年1月10日
鍵の作成・取付け業



高田 三郎
福山RC
2012年2月27日
胃腸科



國本 健二
福山RC
2012年2月27日
旅行業



橋本 大輔
福山赤坂RC
2012年2月7日
社労士

謹 ん で
哀悼の意を
表します



尾道東RC
故岡崎 哲郎殿
2012年2月10日ご逝去(享年66歳)
●ロータリー歴
2009年7月～2010年6月 会長
マルチプル・ボール・ハリスフェロー
米山功労者
●職業分類/外科医



広島東RC
故菅野 清一殿
2012年3月4日ご逝去(享年90歳)
●ロータリー歴
1984～95年度 会長
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー/米山功労者
●職業分類/木材配布

地区ホームページ4月度更新、掲載予定記事

- ガバナーメッセージ ビデオ版vol.9
- 米山ハイライト(PDF)
- 74クラブ会員増減表(PDF)